

2023年10月20日
株式会社マイナビ

「マイナビ 2024年卒大学生 活動実態調査(10月中旬)」を発表 学生の3人に1人以上が、就職活動を通じて「人生が楽しみになった」と回答 後輩へのアドバイスは「失敗体験も振り返る」「辛くなったら大人に相談」「他人の就活状況を気にしない」

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、2024年卒業予定の全国の大学生、大学院生を対象に実施した、「マイナビ 2024年卒大学生 活動実態調査(10月中旬)」の結果を発表しました。

《TOPICS》

- ◆ 人生100年時代について、3割以上が「就職活動を通じて人生が楽しみになった」と回答。「得意不得意を把握でき生きやすくなった」「働くことへの解像度が上がった」などの声も【図1、2】
- ◆ 2025年卒の大学生に向けたメッセージやアドバイスは、「成功体験だけでなく、失敗体験も振り返って」「就活が辛くなったら信頼できる大人に相談」「SNSで就活や他の人の状況を検索しない」などが挙がる【図3】
- ◆ 内定式について「対面形式で、全員集まって実施」が前年より21.2pt増え、2年連続で増加【図4】
- ◆ 約6割の学生が、内定式で「他の内定者と仲良くなれるか」という不安が軽減・解消した一方で、「配属先」「福利厚生」についての軽減は2割程度に留まる【図5】

【調査概要】

人生100年時代と言われるなか、今後の人生で、不安と楽しみのどちらが大きいか、また就職活動を通じて今後の人生についての考えは変わったかを聞くと、「元々不安の方が大きかったが、就職活動を通じて楽しみになった」(21.4%)が最多で、「元々楽しみの方が大きかったが、就職活動を通じてより楽しみになった」(14.8%)と合わせると36.2%の学生が就職活動を通じて人生が楽しみになったと回答した。理由として「自身の得意不得意を把握できたことで生きやすくなった」「働くということへの解像度が上がった」という声があった。一方で、「就職活動を通じて不安が大きくなった」という学生からは、「選考に落ちて自分に自信が持てなくなりネガティブに物事を見るようになった」「就職活動が自分の予想以上に大変だったため、社会に出てからはもっと大変なのではないか」「大手企業や安定職といわれていても、コロナ禍のようなことがあれば不安定になってしまう」という声もあった。【図1、2】

後輩にあたる2025年卒の大学生に向けたメッセージを聞くと、「会社との相性があるため、落ちててもそこまで落ち込まなくても大丈夫」「周りの就職活動を気にしすぎると焦ってしまい不安になるので自分のペースで進めて」「SNSで就活や他の人の状況を検索しないほうがいい」のように、不合格になった時の気持ちの切り替えや、周囲の進捗状況に関するアドバイスが寄せられた。自己分析に関する内容も多く、「今までの成功体験だけでなく失敗体験も十分振り返ること」「内定を取ることを目的にすると後悔するので企業研究や自己分析は深く行った方が良い」などがあった。また「早めに始めれば始めるほど余裕を持って活動ができる」というコメントがあった一方で、「焦って就活するより、大学での学業を優先するべき。将来を見据えた学習や大学でしかできないことに時間を費やす方が、おのずと面接で話すことが見つかる」など、さまざまなコメントが集まった。【図3】

2024年卒の学生の内定式について「直接対面形式で実施され、全員集まって参加した」(79.3%)が最多で、前年比21.2pt増と大幅に増加した。それ以外の参加形式である「オンライン形式で実施され、全員オンラインで参加した」「オンライン形式と直接対面形式の両方で実施され、オンライン形式で参加した」「オンライン形式と直接対面形式の両方で実施され、直接対面形式で参加した」は前年より減少した。オンライン形式の内定式はコロナ禍により大きな影響があった2022年卒調査以降から減少し、行動制限の緩和などを背景に対面実施の内定式が増加しているようだ。【図4】

内定式に参加した学生を対象に、出席するまでに抱いていた不安・懸念・疑問が、出席して解消・軽減したものを聞いたところ、最も多かったのは「他の内定者と仲良くなれるか」(59.8%)だった。8月の調査※では「内定式で配属先や福利厚生を知りたい」という声もあったが、「入社後の配属や業務に関して知ることができるか」(23.0%)や「福利厚生など社内制度に関して知ることができるか」

(16.0%)などの回答は2割程度にとどまった。【図5】

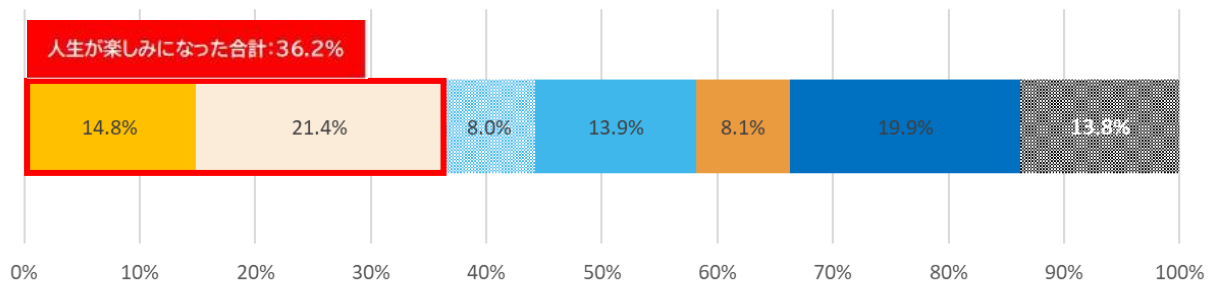
※[マイナビ2024年卒大学生生活動実態調査\(8月\)](#)

【調査担当者コメント】

3人に1人の学生が「就職活動を通じて人生が楽しみになった」と感じ、理由として、自己理解が深まったことや、社会や働くことへの解像度が上がったという声がありました。自己分析や業界研究などを通じ「決まった正解のない、わからないこと」を自分なりに分析・研究したという経験は、VUCAの現代を生きていく学生にとって貴重な経験になったはずで、来年就職活動をする2025年卒の学生に向けたアドバイスでも、自己分析や業界研究の重要性を強調する声がありました。自分のやりたいことや社会の仕組みについて考えることは、社会人になってからも求められます。これからの人生においても就職活動の経験を活かし、自身をとりまく環境や社会について理解を深め、更なる活躍につなげてほしいと思います。

キャリアリサーチラボ 研究員 長谷川洋介

【図1】人生100年時代、不安と楽しみのどちらが大きいのか。また就職活動を通じて今後の人生についての考えは変わったか



- 元々楽しみの方が大きかったが、就職活動を通じてより楽しみになった
- 元々不安の方が大きかったが、就職活動を通じて楽しみになった
- 元々楽しみの方が大きかったが、就職活動を通じて不安が大きくなった
- 元々不安の方が大きかったが、就職活動を通じてより不安が大きくなった
- 楽しみの方が大きく、就職活動の影響はない
- 不安の方が大きく、就職活動の影響はない
- あまりよくわからない

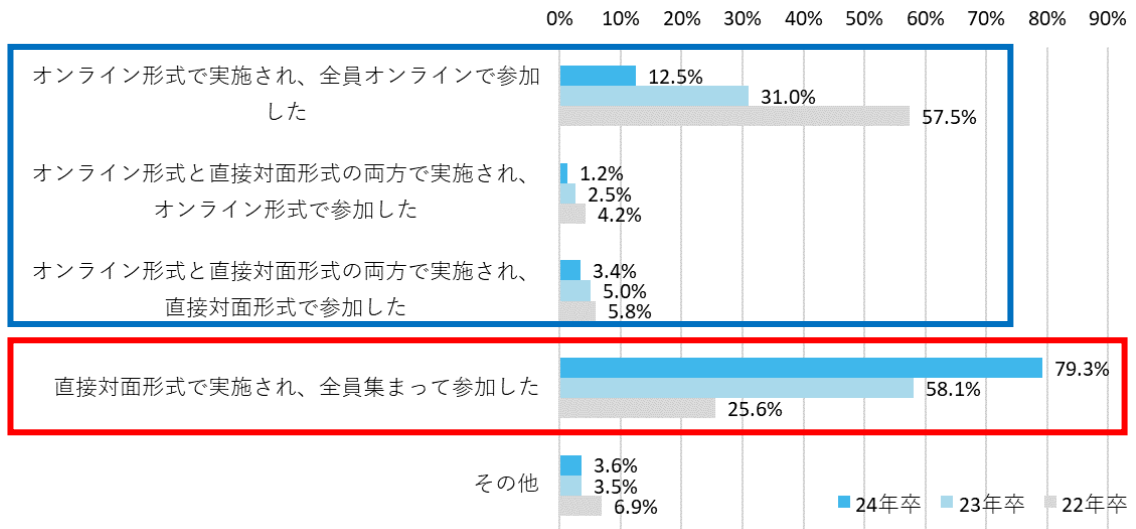
【図2】人生100年時代への見通しとその理由（自由記述／一部抜粋）

属性	人生100年時代の見通しと就職活動の影響	理由
文系女子	元々不安の方が大きかったが、就職活動を通じて楽しみになった	これまで人生について考えたことが正直なかったが、 就職活動を通じて自身の得意不得意を把握できたこと で生きやすくなったから。面接を体験したことでメンタルが強くなり、何があっても落ち込みすぎず、ポジティブな考え方ができるようになったから。
文系女子	元々不安の方が大きかったが、就職活動を通じて楽しみになった	就活を通じて業界や企業の解像度が上がり、社会の仕組みやそこに自分の仕事はどう影響していくかイメージが持てるようになったから。
文系男子	元々楽しみの方が大きかったが、就職活動を通じてより楽しみになった	働くということへの解像度がすこしだけ上がり 、自分の人生の中で働くということの役割が定まったため。あくまで仮決めではあるが、ふわふわとしていた働くことへの考えがカチッと音を立ててハマった感覚があり安心したため。
文系男子	元々楽しみの方が大きかったが、就職活動を通じて不安が大きくなった	企業を選ぶというのは、思っていた以上に難しかったです。
文系男子	元々楽しみの方が大きかったが、就職活動を通じて不安が大きくなった	選考に落ちて自分に自信が持てなくなり、もともとの考え方もあってより、ネガティブに物事を見るようになったから。
文系女子	元々楽しみの方が大きかったが、就職活動を通じて不安が大きくなった	就職活動が自分の予想以上に大変だったため、社会に出てからはもっと大変なことが多いのでは無いか と思ったため
文系男子	元々不安の方が大きかったが、就職活動を通じてより不安が大きくなった	私は不安の方が大きい印象を受けました。理由は時代の変化による選択肢の多様化を実感したからです。一昔前は偏差値の高い大学生は一流企業に就職したり、新卒で入社した会社に長く務める終身雇用制などが主流でした。しかし、時代の変化により、現在は終身雇用でまなく、転職が当たり前の時代になったり、Youtubeで生計を立てるなど生き方の多様化を実感しました。そのため、就活をしているとなぜ、企業に就職するのかさえも考えさせられることがありました。
文系女子	元々不安の方が大きかったが、就職活動を通じてより不安が大きくなった	大手企業であったり安定職といわれていても、コロナ禍のようなことがあれば生活が不安定になってしまふことが往々にしてある と思ったため。また、これから先、自分の就職先がこれまで通り必要とされる企業であるか不明で、先行きが見えない部分があるため。
理系女子	元々不安の方が大きかったが、就職活動を通じてより不安が大きくなった	就活前は将来に対する漠然とした不安があったが、就活を経て、金銭問題や居住地、親の将来、自身の結婚といった具体的な不安に変わった。

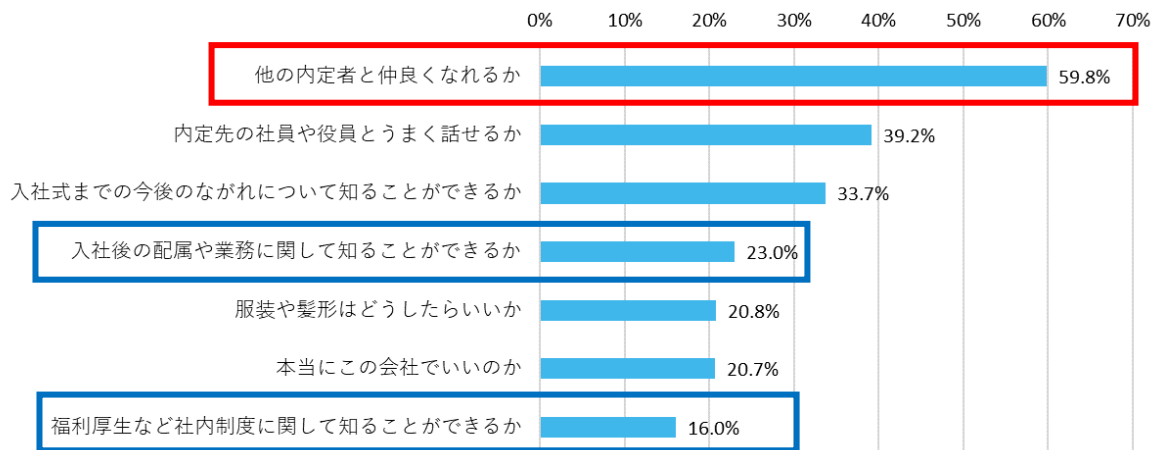
【図3】2025年卒の学生へのアドバイス（自由記述／一部抜粋）

属性	内容
文系女子	自分の能力も大切だがその会社との相性というものがあるため、落ちてでもそこまで落ち込まなくても大丈夫だと思えます。
文系女子	就活が辛くなったら親や周りにいる信頼できる大人に相談したり、1週間でもいいので休むことがすごく大切だと思う。
文系女子	あまり周りの就職活動を気にしすぎると焦ってしまい不安になるので、あまり気にしすぎず自分のペースで就職活動を進めていってください。
文系女子	自分の今までの成功体験だけでなく、失敗体験に対しても十分振り返って自己分析に繋げてください。
文系女子	SNSで就活や他の人の状況を検索することはあまりしない方がいい。
文系男子	焦って就活するより、大学での学業を優先にするべきだと感じた。アルバイトは必要最低限、もしくは全くなくとも問題はない。それより、将来を見据えた学習や大学でしかできないことに時間を費やす方が、おのずと面接で話すことが見つかると思う。
理系女子	早めに始めれば始めるほど自分のペースで余裕を持って活動ができるので、早めに始めることをおすすめします。就活が上手いかわからなくても自分を責める必要はないです。周りの人を頼ってみてください。手を貸してくれる人はたくさんいます。
理系男子	早く始めるに越したことはないが、内定を取ることを目的にしてしまうと後悔してしまう場合があるため、 企業研究や自己分析は深く行っていた方がいい 。
理系男子	自身の就職活動の後悔は、 もっと企業研究であったり自己分析をしておけばもっと幅が広がった と感じているので、特に企業研究と自己分析は大事です。また面接についてですが、面接は練習をした方がいいのとたくさん数をこなして慣れることが重要になってくると思ったので、できるだけ頑張ってください。就職活動はとてもしんどい大変で、いやになることもあると思いますが、とても大事な期間ですので、何か困ったことがあればすぐに周りの人に相談をして、自分がこの会社に入れることができよかったですと思えるように頑張ってください。応援しています。

【図 4】内定式にどのように参加したか（内定式に参加した学生／単一回答） n=912



【図 5】内定式に出席するまでに抱いていた不安・懸念・疑問で、出席して解消・軽減したもの（内定式に参加した学生／複数回答／一部抜粋） n=841



【調査概要】「マイナビ 2024 年卒大学生 活動実態調査（10月中旬）」

- 調査期間／2023年10月10日（火）～10月14日（土）
- 調査方法／マイナビ2024の会員に対するWEBアンケート
- 調査対象／2024年3月卒業見込みの全国の大学生、大学院生
- 調査機関／自社調べ
- 有効回答数／1,543名（文系男子387名 文系女子578名 理系男子304名 理系女子274名）
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース（<https://www.mynavi.jp/news/>）からご確認いただけます。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
キャリアリサーチラボ 研究員 長谷川
Email : myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 広報部 松田
Email : koho@mynavi.jp